

史学委員会

高校歴史教育に関する分科会（暫定設置）（第24期・第1回）議事要旨

1. 会議名 史学委員会高校歴史教育に関する分科会（暫定設置）（第24期・第1回）
2. 日時 平成29年11月16日（木）10時00分～12時00分
3. 会場 日本学術会議 5-C(1)会議室
4. 出席 木村茂光・久保亨・坂井俊樹・若尾政希・君島和彦（説明人）
5. 議題

(1)前期（第23期）よりの申し送り事項の確認

第23期第7回の議事録を読んで、前期よりの申し送り事項を確認した。

(2)「中高大歴史教育に関する分科会」への名称変更及び役員を選出

・名称変更及び課題

日歴協との共催の歴史教育シンポジウム（2017年10月28日、於駒澤大学）での議論及び前期よりの申し送り事項を踏まえて、分科会の名称を「中高大歴史教育に関する分科会」と改め、幹事会に提出することとした

・役員を選出

「高校歴史教育に関する分科会」（暫定設置）として委員を選出する必要があるため、次のように定めた。委員長若尾政希（第一部会員）、副委員長坂井俊樹（連携会員）、幹事久保亨（連携会員）・幹事近藤孝弘（連携会員）。なお、名称変更後の分科会の委員は、その分科会で決定することとした。

(3)「高等学校歴史教科書・大学入試出題用語精選基準に関するアンケート調査」（2017年11月実施）について

・高大連携歴史教育研究会の呼びかけにより、「高校歴史教科書・大学入試出題用語精選基準に関するアンケート調査」の賛同団体として、本分科会が名を連ねることについて確認した。

本分科会としては、高校の教材で扱われる歴史用語が膨大になっていることから、これまで「重要用語の厳選」についての議論が必要だとして、第21期の提言作成過程以来、議論を重ねてきた。今回のアンケートは、広く歴史教育に関心を持つ方々の意見を聞くものであり、その結果が、今後の議論の参考になると考えて本アンケートに名を連ねた次第である。

本分科会が、歴史用語の整理を遮二無二推進する立場をとっている訳ではなく、今回アンケートに名を連ねたことも、そうした方針に沿ったものであることも改めて確認した。

久保委員より、2017年11月9日に高大連携歴史教育研究会役員、日本歴史学協会役員と同行して文科省を訪問した件について報告がなされた。「用語精選基準に関するアンケート」の概要について説明するとともに、「アンケート実施には協力しつつ、用語精選の作業自体には関わらない」（久保委員の発言）という日本学術会議（高校歴史教育に関する分科会）の立場を説明した。

(4)その他

今後の検討課題として、次期の学習指導要領の分析を行いたいという意見が出た。

幹事会により改称を認められた後、1月下旬～2月を目処に分科会の委員会を開催することを確認した。